



令和5年度 予算と主要事業の概要 (新規・重点施策抜粋版)

和歌山市
令和5年2月14日

令和5年度予算のポイント

生活や社会の閉塞感を打ち破るポストコロナへの転換に向け
民間との共創や新たな価値の活用を推進力として4つの将来都市像の実現を目指す

民間の機運の高まり
広がり始めたにぎわい
各地域のポテンシャル

誰もが安心して暮らせる
優しいまち

ふるさとで学び
働けるまち

デジタル技術の進歩
モビリティの進化
脱炭素への世界的な関心

子供たちが
いきいきと育つまち

県都として活力に
あふれたまち

令和5年度予算は、脱コロナに加え、新たな希望や可能性に向け踏み出す

オール和歌山市の力で実現する、コロナ禍からの脱却と新たな出発のための予算

01 ふるさとで学び 働けるまち

つながりにより生み出される新たな未来

本市の子供や若者たちが、生まれ育ったまちに対して誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思えるような取組を推進することで、将来の定住促進につなげるとともに、市外に対しても関係・交流人口の創出を図ります。

● TGC和歌山の効果を継続的な魅力発信につなげるための取組の推進<継続> 観光課

本市の魅力の継続的な発信により、シビックプライドの醸成や関係・交流人口の創出、本市地場産業の振興等につなげる



東京ガールズコレクションの
地方創生プロジェクトが
関西初上陸

TGC和歌山2023



地元学生アドバイザーとの連携
(アフターイベント)

**本市の継続的な魅力発信と
シビックプライドの醸成へ**



● HYDEギャラリーの リニューアル<拡充> 観光課 998千円

**HYDE氏ゆかりの品を展示
直筆サインも!**



● 音楽大行進・ 子どもなかよしまつりの開催 文化振興課 青少年課 <継続> 8,194千円

**中高校生・子供たちが
中心となり、華やかな
パレードを披露**



地域産業の成長促進

地域の産業を活性化させ、持続的な発展につなげていくためには、企業の成長と従業員への分配の好循環をつくりだすことが肝要です。本市市民の所得向上にもつながるよう、市内企業の更なる成長を後押しします。

企業誘致 + 市内企業の成長促進

● 企業立地促進奨励金制度

＜継続＞ 175,522千円 産業政策課

産業振興及び雇用機会の拡大のため、市内で新增設等を行った事業者に対し、一定要件を満たすことで奨励金を交付

● 用地の取得費用も対象

● 雇用者1人当たりの雇用奨励金の額（60万円）は中核市トップクラス

● IT等サービス業のオフィス賃借費用は県市合わせて100%負担

市内からの一定数の新規雇用を要件にすることで雇用を拡大

市内企業の生産性向上 + 市民所得向上

● 所得向上補助金の創設 <新規> 20,000千円 産業政策課

企業の生産性を高め市民の所得向上につなげるため、一定以上の設備投資を行い給与額を増加させる企業に対し設備取得価格の一部を補助する制度を創設

事業規模拡大を図る市内に事業所を有する製造業の法人



設備の取得価格の5%を補助

雇用要件に代えて給与増加を要件に組み込み、市民所得向上へ

新たに追加

道路の整備促進

市の基幹道路である都市計画道路の整備を進め、道路ネットワークの構築を図るとともに、日常的に利用される道路の安全を確保することで市民の命と暮らしを守るため、生活関連道路の重点的な整備を進めます。

道路政策課／道路建設課／道路管理課

道路政策課

● 生活関連道路の保全<拡充> 1,081,222千円

市単独の道路保全予算を1.8億円増

災害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な道路環境を確保するための舗装修繕等の実施を大幅に拡充し、併せて交通事故を未然に防止するための交通安全施設の新設、補修等を実施

● 坂田磯の浦線の整備<継続> 382,625千円

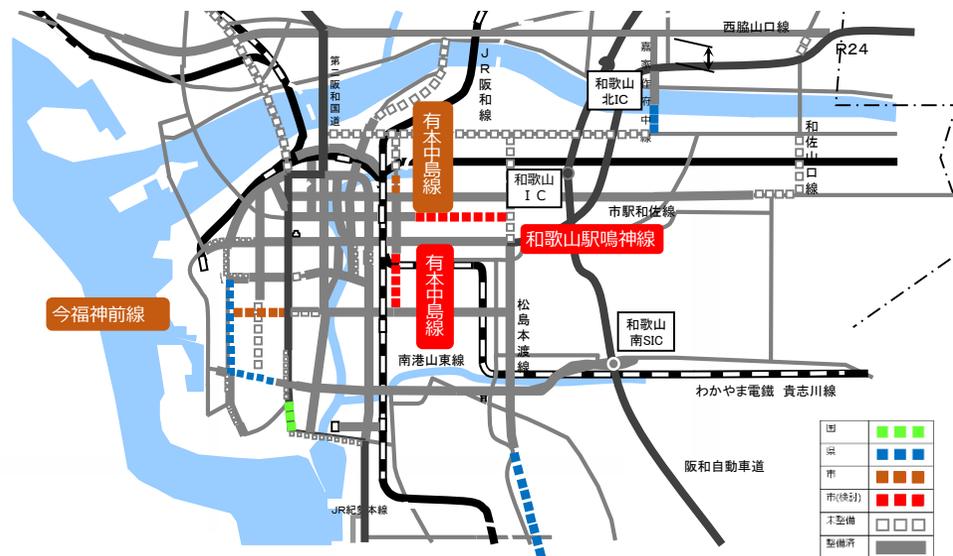
道路建設課

令和5年度の完成に向けて整備



● 都市計画道路整備の新たな検討<新規> 14,500千円

都市計画道路の未整備路線を継続的に整備し、効率的かつ効果的に事業を進めるための新たな検討を行う
(令和5年度に検討する主な路線) 和歌山駅鳴神線、有本中島線



● 都市計画道路の整備<継続> 357,114千円

道路建設課

都市計画道路のうち重点整備区間道路の整備を促進
(令和5年度に整備する主な路線) 今福神前線、有本中島線

夜を彩る -にぎわいと憩いの光を灯すまちなか

まちなかを中心としたイルミネーションやライトアップなど、“光”の演出を用いた仕掛けづくりにより回遊の楽しさや魅力を向上させることで、夜のにぎわいの創出及び地域経済活動の振興につなげます。

● けやき大通りイルミネーションプロジェクト

<新規> 15,000千円 商工振興課

本市の玄関口であるJR和歌山駅から和歌山城までを結ぶ**けやき大通り**をイルミネーションで彩り、**夜間の魅力向上を図る**ことで、冬季・夜間等閑散期の観光誘客促進、滞留時間の延伸及びナイトタイムエコノミーの推進につなげる



イメージ

周辺のイルミネーション等との連携

● JR和歌山駅周辺のイルミネーション

<継続> 4,889千円 商工振興課



● 水辺のライトアップ

<継続> 616千円 まちなみ景観課



「フェスタ・ルーチェ」との連携の推進

和歌山マリーナシティで毎年開催されている光の祭典「フェスタ・ルーチェ」と連携を図り、相乗効果で更なる誘客及び消費増を目指す



ナイトタイムエコノミーの消費促進

● 商店街の活性化支援・

商工振興課

ナイトタイムエコノミーの推進 **<継続> 4,000千円**

商店街組合や個店等が商店街の魅力を発信するため新たに実施する事業や、夜間におけるの経済活動を振興させるための事業に対し助成

“稼げる観光”の推進

ポストコロナのインバウンド回復も見据えた“稼げる観光”化の加速を図ります。一年を通して楽しめる観光資源の活用や、各地域の持つ多様な観光価値を生かしたツーリズムの推進などにより、誘客促進及び観光消費の拡大を図ります。

●クルーズ船の活用<継続> 5,443千円 観光課

クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う



ダイヤモンド・プリンセス

R1寄港時の様子

「ダイヤモンド・プリンセス」が初めて同年に2度入港予定!
また、17万トン級大型クルーズ船「MSCベリッシマ」も
6月に初入港し、その後も複数回入港予定!

●スポーツツーリズムの推進 スポーツ振興課

・和歌山ジャズマラソンの開催<拡充> 23,480千円

参加賞の充実やゲストランナーの招聘等による魅力向上を図るとともに、宿泊施設等と連携してツーリズムの推進を図る

・サイクリングの推進<継続> 1,220千円

泉州地域と連携した周遊スタンプラリーにより、サイクリストの相互誘客を図る



和歌の浦

●和歌祭・和歌浦花火大会<継続> 8,434千円 観光課

本市の伝統文化「和歌祭」を未来に継承するとともに、**和歌浦漁港での花火の定着を図る**など、ツーリズム化も見据え更なる誘客と消費拡大を目指す



和歌祭



R4年度開催された和歌浦花火大会

加太・友ヶ島

●『サマータイムレンダ』を活用した誘客促進 観光課

「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」
2023年版に選定

・ゆかりの地イベントの開催<新規> 3,993千円

出演声優等を起用したイベント開催により誘客を図る。さらに、ゆかりの地「加太・友ヶ島」への来訪も含めた企画とし、宿泊等を誘発

・多言語版聖地巡礼MAP<新規> 2,000千円

海外でも人気を博している同アニメによる今後のインバウンド誘客にもつなげる



02. 県都として 活力にあふれたまち

和歌山城周辺のさらなる魅力向上

和歌山城のかつての姿の再現に向けた検討等により、これまで以上に市民にも来訪者にも愛される、魅力あふれる和歌山城を目指します。また、和歌山城を中心とした緑のまちづくりを推進し、周辺での歩いて楽しいまちづくりとの連携を図ります。

さらに愛される和歌山城へ

和歌山城
整備企画課

●天守閣など和歌山城の 在り方の検討<拡充> 33,375千円

天守閣の整備検討と併せて、市民の憩いの場とする和歌山城の保存活用の在り方の検討。



二の丸北辺櫓

第35回全国「みどりの愛護」のつどい

令和6年春、和歌山城公園及び和歌山城ホールにて開催予定
全国の緑の関係者が一堂につどい、広く都市緑化意識の高揚を図り、
緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進

和歌山城周辺のまちづくり

●扇の芝の整備<拡充> 288,002千円 和歌山城整備企画課

引き続き用地買収を継続するほか、新たに石垣の保護及び今後の段階的整備に向けた設計業務を実施



●緑の回廊 (グリーンベルト) の検討<新規>

公園緑地課

和歌山城の南に位置する奥山公園から車坂周辺において、緑を感じながら散策できるような空間づくりに向けたルートを検討



ウォーカブルシティの形成

●市道中橋線の整備<継続> 都市再生課

和歌山城からまちなかへの主要動線として、まち歩きの出発点となる歩行者中心の道路空間として再編成

J R和歌山駅を起点とした東部発展への取組

本市の玄関口であるJ R和歌山駅において、民間事業者の提案をもとに賑わい創出を図るとともに、再開発事業などの民間活力を生かし、駅周辺の活性化を促進します。またその賑わいを東部地域へ伝播させるための道路網の検討を深めます。

都市再生課

● J R和歌山駅東口の民間活用<継続> 2,893千円

駅前広場や現駐輪場用地といった公有地を対象とし、民間活力を活かした賑わい交流空間を創出

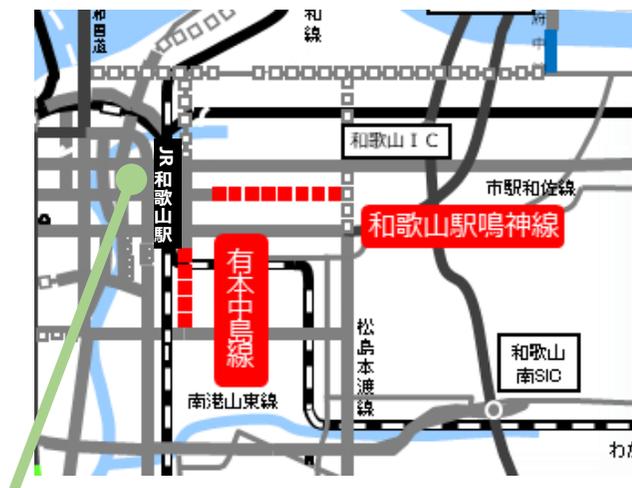
令和4年度
優先交渉事業者選定



道路政策課

● JR和歌山駅周辺都市計画道路整備の検討(再掲)

東口の整備効果を東部地域へ伝播するための都市計画道路の整備を検討



● 市街地再開発事業の検討<新規> 3,000千円 都市再生課

・ 友田町3丁目周辺地区再開発

JR和歌山駅周辺の活性化及びJR和歌山駅から和歌山城への人流増加につなげるため、地権者組織による市街地再開発事業の検討を支援



南海和歌山市駅を中心にした駅まち空間の形成

南海和歌山市駅周辺エリアにおいて、旧市民会館の民間活用による、かわまちづくりと連携した交通結節点としての機能向上など、都市整備を次のステージへ進める取組を推進します。

都市再生課

●旧市民会館跡地等 民間活用<継続> 5,093千円

民間活力を活用し、南海和歌山市駅等と連携した更なる賑わいを創出し、市堀川沿いという立地条件を活かし、かわまちづくりとして水辺空間の活用も検討

令和5年度
優先交渉事業者選定



●市街地再開発事業の検討(再掲) 3,000千円 都市再生課

・南海和歌山市駅前再開発

南海和歌山市駅からまちなかへ賑わいを波及させるため、**地権者組織による市街地再開発事業の検討を支援**



●かわまちづくりの推進<継続> 河川港湾課

市堀川周辺において、市民等が気軽に水辺や水面に近づきやすく、舟運や水上アクティビティにも利用しやすい空間とし、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」を進める



撮影協力：株式会社 オーシーファイ

オール和歌山市域で持続的に発展する活力にあふれたまちを実現

海・山・川に囲まれ自然と都市がコンパクトにまとまっている地域特性や万葉の時代から人々を魅了してきた歴史・文化などの魅力をまちづくりと融合

まちなかの賑わいを
点から線へ、線から面へ



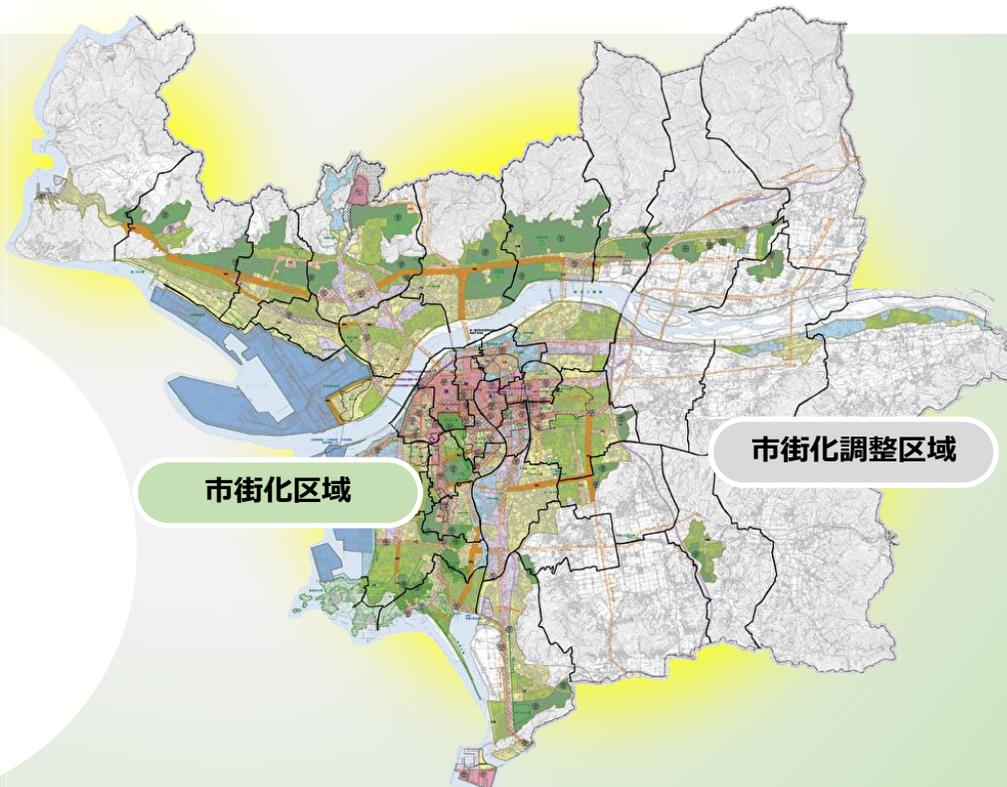
各地域の持つ多様な
ポテンシャルを引き出す



拠点間をつなぐ交通の
ネットワークを形成

開発許可基準を改定

地域特性を生かした土地利用等による市街化調整区域内集落の拠点化等につなげる



市街化区域

市街化調整区域

誰もが移動しやすいまちに向けて

市民の豊かで快適な暮らしの実現に不可欠な地域交通について、MaaSやAIオンデマンドといった先端的なデジタル技術等の実装も見据えながら、拠点をつなぐネットワークの形成による、誰もが移動しやすいまちの実現を目指します。

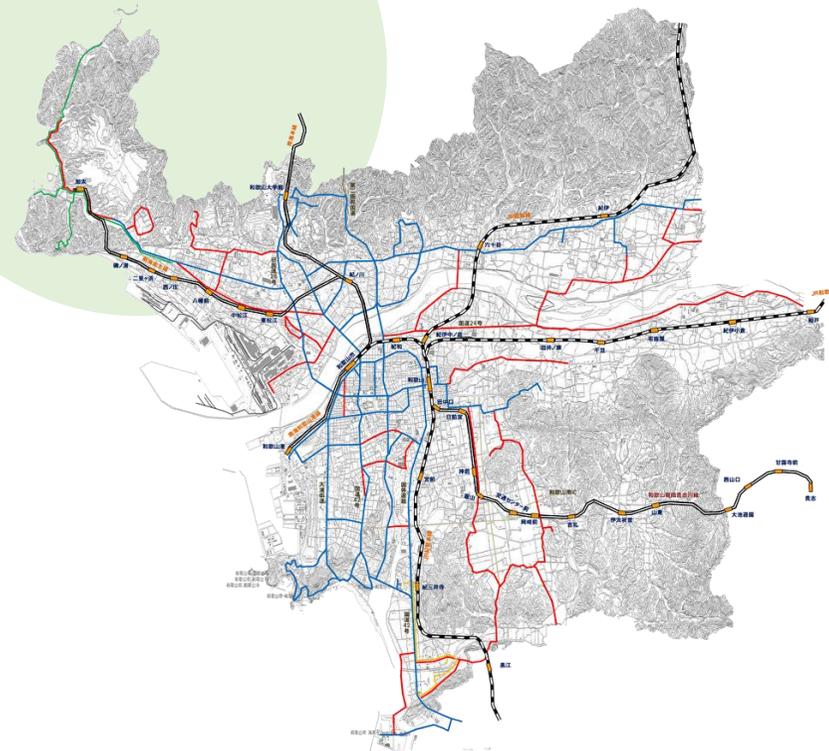
● 不便地域における公共交通の在り方の検討<継続>

交通政策課

公共交通不便地域における地域バスについて、令和3年度、令和4年度に実施した実証運行の調査結果を踏まえ、利便性・乗車率の高いルートや運用制度の在り方など、現行制度の見直しも含めて検討を行い、本格運行の可能性を探る



現行バス路線を補完する地域バス等の運行や、新駅など交通結節点の検討など、将来的な公共交通ネットワークの再編に向け研究を継続



● 新たなモビリティの活用<新規>

交通政策課／農林水産課

四季の郷公園等において、景観を楽しみながら便利に移動できるグリーンスローモビリティ等の**新たなモビリティ実装に向けた取組を推進**。スマートシティ実証実験サポート補助金の活用を目指す

新たなモビリティのイメージ



出典：尾道市

● MaaS導入に向けた検討<継続>

交通政策課

大学・行政・交通事業者・社会経済研究所等が参加するMaaS研究会にて、各地の事例等を研究。また、2025大阪・関西万博との連動効果を研究

各拠点を結び、誰もが移動しやすいまちへ

北部丘陵のポテンシャルを引き出す取組

豊かな自然を有し、災害にも強い北部丘陵地域について、多くの都市機能がすでに立地しており、企業や住宅の整備が可能な用地が広大にあることから、県外からも人が集まる魅力的な都市を形成するための取組を検討します。

災害に強く 魅力的な都市の形成を目指す

● 北部丘陵地の計画検討

＜新規＞ 11,000千円 道路政策課

北部丘陵地に位置する既存公共施設の利便性向上を図るとともに、災害時における西脇山口線のリダンダンシーの確保や大阪側へのアクセス向上等、当該地域の企業誘致や防災に寄与する**道路の計画及び必要性等を検討**

● つつじが丘総合公園の整備

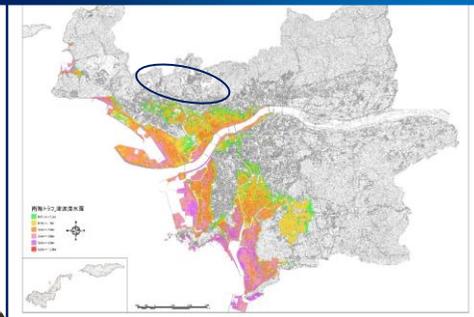
＜拡充＞ 217,500千円 スポーツ振興課

つつじが丘テニスコートを核として総合的な公園を整備する計画のうち、「にぎわい・スポーツ公園ゾーン」及びリニューアルする「中央公園」の設計を実施するとともに、整備工事に着手

スカイタウンつつじが丘

有償による一括譲渡により、移住定住のまちづくりや災害事前復興用地の確保に協力して取り組む

南海トラフによる津波浸水想定図 -全域版-



紀の川周辺緑地の魅力化

雄大な紀の川に臨み、豊かな自然環境に親しむことができる緑地について、コロナ禍を通じたアウトドアニーズの高まりも踏まえ、幅広い世代が自然と触れ合うことのできる多様な活動の拠点づくりを目指した総合的な整備に取り組みます。

● 紀の川緑地等の活用を推進

<新規> 23,300千円

公園緑地課/交通政策課

紀の川緑地全体の総合的な整備を実施

既存のグラウンド整備や広場リニューアルをはじめ、未開発エリアにスポーツ・アクティビティ施設、散策や水辺で親しむエリア等を検討

サイクリングロード

サイクリングロード検討 (左岸)

スポーツゾーン

憩いのゾーン

アウトドアゾーン

健康促進ゾーン

自然と触れ合う多様な活動拠点の実現

03 子供たちが いきいきと育つまち

安心して子育てできる経済的支援

こども医療費助成制度の対象年齢を高校卒業まで拡充するなど、子育て世代に対する支援を強化することで、子育てに対する不安や経済的負担の軽減を図り、子供の健やかな成長を育む環境づくりを推進します。

● こども医療費助成制度の対象年齢拡大

＜拡充＞ 1,371,726千円 こども家庭課

安心して子どもを生み育てられる子育て環境の充実を図るため、こども医療費の支給対象者を18歳到達年度末まで拡充を行う



これまで
 市内在住中学3年生まで

令和5年8月から
 市内在住高校生まで

本市に住所を有する0歳から18歳
 までの方の保険診療にかかる
医療費無料化



● 一時預かり利用者の負担軽減

＜新規＞ 3,791千円 保育こども園課

所得の低い世帯等の一時預かり利用料を軽減。積極的な利用と、保護者の子育てに関する心理的・身体的・経済的負担の軽減を図る



● 出産育児一時金の充実

＜拡充＞ 112,344千円 国保年金課

出産育児一時金を子供1人あたり42万円から50万円（産科医療補償制度有の場合）に増額し、出産時にかかる経済的負担を軽減する



保育環境の更なる充実

保育の受け皿の確保に加え、不足する保育人材の確保など待機児童の解消に努めるとともに、働く保護者の育児環境や保育士の労働環境の改善を図ることで、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

待機児童の解消

- **保育体制の強化** <新規> **28,639千円** 保育こども園課
保育士の業務負担軽減及び児童の安全確保のために、**補助業務者の配置を支援する制度を創設**
- **障がい児の受入れ促進** <拡充> **57,096千円** 保育こども園課
障がい児の受入れ促進を図るため、特別な支援が必要な児童を受け入れ、保育士を加配する園に対して、その人件費の**補助割合を1/3から1/2に引き上げる**

安全・安心な保育環境

- **保育環境の改善** <新規> **1,572千円** 保育こども園課
働く保護者の育児環境や保育士の労働環境を改善するため、市立保育所・こども園における**使用済みおむつの自園処分を行う**
- **通園バス安全装置設置** <新規> **27,600千円** 障害者支援課/保育こども園課 **2月補正**
保育所や認定こども園等の通園バスにおける園児の置き去り防止に係る**安全装置設置に要する費用を補助**



個別最適な学びと協働的な学びの実現

専門性を持った教員による小学校における教科担任制の推進や、35人学級の計画的な整備を図るとともに、ICTを活用した教育環境の充実に取り組み、新しい時代にふさわしい質の高い教育の確保に努めます。

きめ細かな教育体制

● 少人数学級の推進 <拡充> 学校教育課

一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導と安全安心な教育環境を実現するため35人学級を導入。3年生までに加え、令和5年度から4年生でもスタート。令和7年度に向け順次拡大

● 教科担任制の推進 <継続> 学校教育課

教科指導の専門性を持った教師による小学校における高学年の教科担任制を推進



G I G Aスクールの着実な推進

● 教育のハイブリッド化 <拡充> 9,758千円 学校教育課 教育研究所

市立小学校の全ての授業教室に大型ディスプレイを導入し、教室でも自宅でも授業に参加できるようにし、対面授業と組み合わせた効果的な活用を推進するとともに、デジタル教材や児童の考えを適切に提示して学べるようにすることで、G I G Aスクール構想を更に進める



● ICT活用指導力の向上 <拡充> 45,134千円 教育研究所

市立小学校の授業教室に教員用G I G A端末を整備し、教員が文具や教具のように日常的に活用していけるよう、機器の利活用、プログラミング、情報モラル教育及びソフトウェアの使用方法についての研修の充実を図る

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

学校給食・食育の推進

子供たちの健やかな成長を支えるため、中学校における全員給食の早期実施に向け取り組むとともに、オーガニック給食を推進し、健全な心身の育成を図ります。

心身の成長を支える給食の提供

● 中学校全員給食化の推進

＜新規＞ 23,328千円 保健給食管理課

（仮称）和歌山市中学校給食センターについて、DBO手法により整備・運営するにあたり、実施方針の策定から事業者との契約の締結に至る一連の業務に必要な調査・検討等を行う



児童生徒の心身の
健全な発達



持続可能な食育・
地産地消の推進

保健給食管理課

● オーガニック給食の推進 ＜新規＞ 138千円

小規模校においてオーガニック給食を実施するとともに、農業従事者・納入業者・学校現場での課題等を洗い出し、将来の全校実施に向け、方針を検討する

自ら学び、社会を生き抜く力を育む読書環境の充実

継続的な読書習慣を育み、豊かな感性を磨くため、学校図書館の充実を図るとともに、市民図書館や地域拠点を活用した読書活動を推進します。

● 学校司書配置による学校図書館の利用促進

＜拡充＞ 17,690千円 読書活動推進課

学校図書館を活用した学習活動の充実を図るため、**学校司書の2名増員**や、図書館の環境整備、教育支援を行うなど、児童・生徒の読書活動を推進する



**継続的な読書習慣を育む
読書活動の推進**

● 南コミュニティセンター図書室等の開室 生涯学習課

＜継続＞ 12,997千円



様々な世代の方にご利用いただく生涯学習施設として機能強化を図るため、**南コミュニティセンター図書室等の開室**を行う。令和5年度春開室予定

● 図書館システムの更新 読書活動推進課



図書館システムの改修と合わせて、**マイナンバーカード**など図書館利用券以外で貸出を可能とする機能を追加し、利用者の利便性向上を図る

04. 誰もが安心して 暮らせるやさしいまち

命を守る対策

将来起こりうる地震等の災害に対し、的確な避難や効果的な対応ができるよう準備を進めるとともに、3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化により、防災意識を高め、社会全体で災害に備える体制を目指します。

● 防災ラジオの貸与<新規> 838千円

地域安全課

屋内にいる方が防災情報を迅速に受信できる
防災ラジオを高齢者世帯や障害者世帯等に貸与
(高齢者だけの世帯など一部制限あり)



● 防災マップの全戸配布<継続>

地域安全課

令和4年度完成予定の防災マップを市内全戸に配布

● 地区防災計画の作成<新規> 96千円

地域安全課

大規模な災害に備え、自助・共助の観点から、地域特性を踏まえた
地区防災計画の作成を推進

● 事前復興計画の策定<新規> 528千円

総合防災課

大規模災害からどのように復興するかを事前に検討し、復興期間の短縮を図るよう、事前復興計画を策定。また、浸水リスクのない安全な土地の積極的活用を検討し、復興ビジョンとそのプロセスを提示

● 3D都市モデル及びユースケース開発<拡充> 6,028千円

都市計画課

災害リスクを直感的にわかりやすく可視化することで、住民や企業等の防災意識を高め、社会全体で災害に備える安全・安心な社会の実現を目指す。R5年度は、南海トラフ地震等で想定される各種被害予測データを掛け合わせ、住宅や産業施設への影響を可視化



令和4年度に作成した3D都市モデル：貴志、野崎、松江周辺

● 廃旅館の解体撤去

<新規> 69,718千円

空家対策課

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく略式代執行により廃旅館の解体撤去を実施することで、近隣住民の安全、災害時の避難経路の確保に努める



浸水対策の推進

気候変動の影響による水害の激甚化・頻発化等を踏まえ、地域の特性に応じ、氾濫をできるだけ防ぎ、減らす対策、被害の軽減、早期復旧のための対策を進めます。

● 紀の川の整備加速化<継続> 河川港湾課



新六箇井堰

国土交通省により
切り欠きが事業化

● 準用河川改修事業<継続> 104,441千円 河川港湾課

地域住民の生活河川として、治水対策、生活環境の保全上重要な役割を担っている準用河川 永山川について、河道改修及びバイパス河川整備を行うことにより治水安全度の向上を図る

● 河川整備事業<継続> 87,974千円 河川港湾課

準用河川を除く普通河川について、河道改修及び適切な維持管理により、流下機能を確保し、浸水被害の軽減を図る

● 国営農地防災事業の推進<継続> 耕地課

国が事業主体となり県・市・土地改良区の連携のもと、和歌山市から紀の川市に至る地域において排水対策として農業用排水路や排水機等の改修を実施



名草排水機場

令和4年度一部暫定供用開始

● 亀の川第2排水区事業効率化検討業務

<新規> 49,100千円 下水道企画課

効率的な事業実施のため、既設排水経路の現状把握、管渠計画の見直し、ポンプ場の排水能力・形式の見直しを実施

消防力の向上

近年増加傾向にある119番通報に対し、高機能消防指令システムを構築するとともに、塚本治雄基金等を活用し、高規格救急自動車を購入することで、災害現場に駆け付け救助・救出を行う消防の対応力の向上を推進します。

● 消防指令システムの構築<新規> 983,541千円

指令課

安定的に継続した119番の通報及び迅速な出動を行うために、
高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備を更新

現在の4消防本部での共同運用に新たに有田市消防本部が参入



● 宮前出張所の庁舎移転<新規> 59,354千円

消防総務課

● 高規格救急車の購入<継続> 89,067千円

警防課

高度な救命処置等ができる高規格救急車を購入



塚本治雄
基金を活用



● 消防団員年額報酬の大幅な引き上げ

<拡充> 62,326千円

消防総務課

地域防災力の中核的な役割を担う消防団について、
消防団員報酬額を大幅に引き上げ



高齢者・障害者の生活安心サポート

IoT/ICTを活用した高齢者の見守りサービスを展開し、地域全体で支え、共生していく社会の実現を目指します。また、高齢者の外出支援を充実させるとともに、公共的施設のバリアフリー化を推進し、安心、安全な環境を整備します。

安心を守る取組

● 高齢者の見守りサービス <新規> 322千円 地域包括支援課



(イメージ)

認知症などひとり歩きのおそれのある高齢者を抱える家族に対し、事故の未然防止、家族の身体的・精神的負担を軽減するため、**見守り端末を3か月間無料で貸与し、見守りサービスの導入促進を図る**



● 公共施設のバリアフリー化

- ・つつじが丘テニスコート場障害者用駐車場及びシェルター整備 <拡充> 6,061千円 スポーツ振興課
- ・河南コミュニティセンターの障害者用駐車場屋根設置 <拡充> 4,873千円 生涯学習課



外出支援

高齢者・地域福祉課

● 元気70パスによる外出支援 <拡充> 119,334千円

70歳以上の高齢者に対しバスカード・市営駐車場割引利用券のいずれか
と公衆浴場利用回数券を交付
(R5年度から**市営本町地下駐車場**が利用可能駐車場として追加)

● 高齢者補聴器購入費の助成 <新規> 1,500千円

聴力低下により日常生活の営みに支障がある在宅の高齢者に対し、**補聴器購入に要した費用を助成**し、高齢者の閉じこもり防止と外出支援を図る

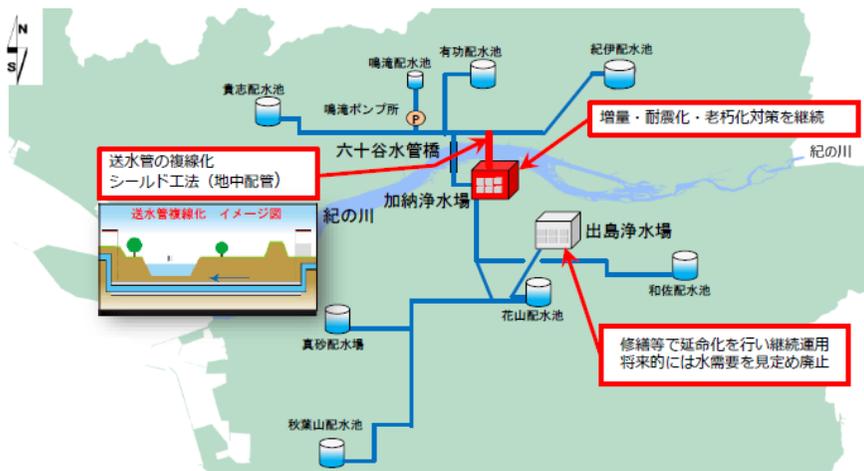
市内全域の安定給水の確保

将来にわたり安全でおいしい水を安定的に供給するため、送水管の複線化によるリダンダンシーを確保するとともに、老朽化した配水管の整備などを進めます。

ライフラインとしての安定供給

● 送水管複線化への取組<新規> 12,100千円 水道企画課

紀の川以北地域の安定供給に向けて紀の川横断部の複線化に取り組む



水道企画課

● 新水道事業ビジョンの策定<継続> 10,759千円

水道施設や水道料金の在り方を再検討し、水道事業の方向性を示すことを目的として和歌山市新水道事業ビジョンを策定

● 配水管整備事業<継続> 2,340,685千円 管路整備課

老朽化した配水管の整備、耐震化、各水系間の相互連絡管等の配水管を布設



わかやま型脱炭素モデルの構築

脱炭素社会の実現に向け、公有地での創エネや省エネなど、公共部門が率先して取組を進めるとともに、市民や事業者の脱炭素化への取組を支援する。また、汚泥の堆肥化から学校給食へと循環する「わかやま型脱炭素モデル」を構築する。

● 汚泥の堆肥化に向けた実証実験

<新規> 10,251千円 青岸汚泥再生処理センター

現在焼却処理をしている汚泥の一部を、民間企業と連携して堆肥化する実証実験を行う。製造された有機質堆肥を遊休農地などに活用し、有機農業の推進を行うとともに、生産された食材を学校給食などに提供することで、サーキュラーエコノミー（循環型経済）を構築



● 官民連携による汚泥処理施設の改築

下水道施設課
終末処理場管理課

<新規> 500,000千円

老朽化した中央終末処理場の汚泥処理施設の改築について、**DBO方式**により民間の持つ技術やノウハウを活用。



● EV（電気自動車）の導入促進

<新規> 9,000千円 環境政策課

市民（個人宅）を対象に国のCEV補助金に**上乗せ補助**することでEV（電気自動車）の導入を支援する



● 再生エネルギー供給の検討

<新規> 環境政策課

公有地を活用し**大規模ソーラーパネルの導入を検討**。2030年のカーボンハーフ、脱炭素社会を見据えた取組の検討を行う



行政DXの推進

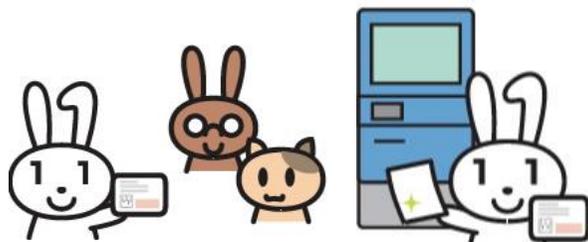
自治体DXの一環として行政手続きのオンライン化等を図り、住民の利便性を向上させるとともに、ペーパーレス化等を進め、業務効率化による行政サービス向上を図ります。

オンライン手続きの推進

● 行政手続きのオンライン化<拡充> 4,926千円

デジタル
推進課

マイナンバーカードを活用した本人確認や、手数料のキャッシュレス決済など、オンライン申請の機能を拡充し、行政手続きのオンライン化を推進するとともに、スマートフォンでオンライン申請の申請履歴や申請状況を確認できるデジタル窓口を導入



ペーパーレス化の推進

● 本会議場へのモニター設置 <新規> 6,165千円

議事調査課

会議の進行状況や配付資料等の映像を配信し、市民に分かりやすい情報提供を図るとともにペーパーレス化も推進

デジタルデバイドの解消

● デジタルデバイス対策<継続> デジタル推進課

デジタル技術の利用方法が分からない、またその習得機会が無い方を対象に、スマートフォンの操作やスマートフォンによる行政手続き・サービスの利用方法の講座の開催や、マイナンバーカードの申請方法、活用支援等を実施



● ペーパーレス会議のための環境整備<新規> 1,435千円

デジタル推進課

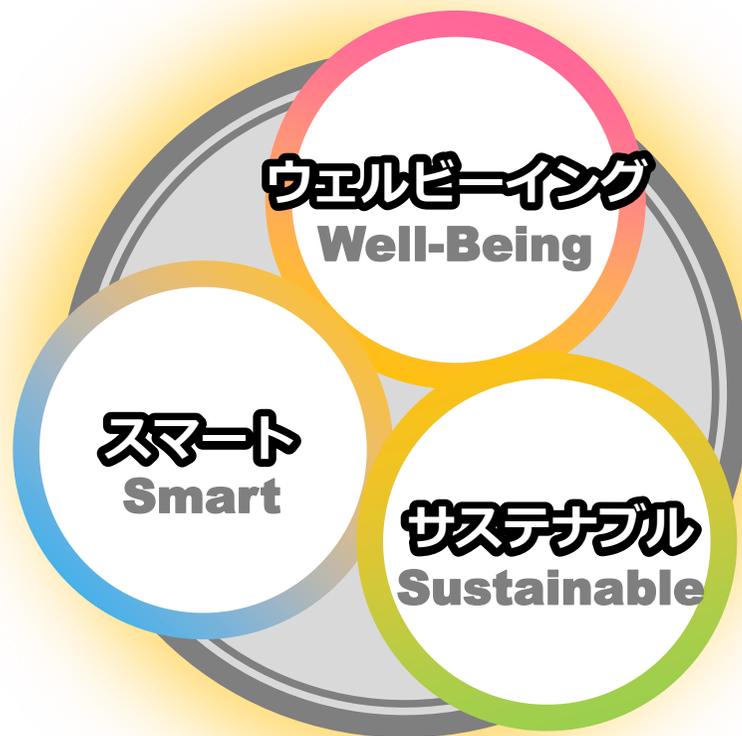
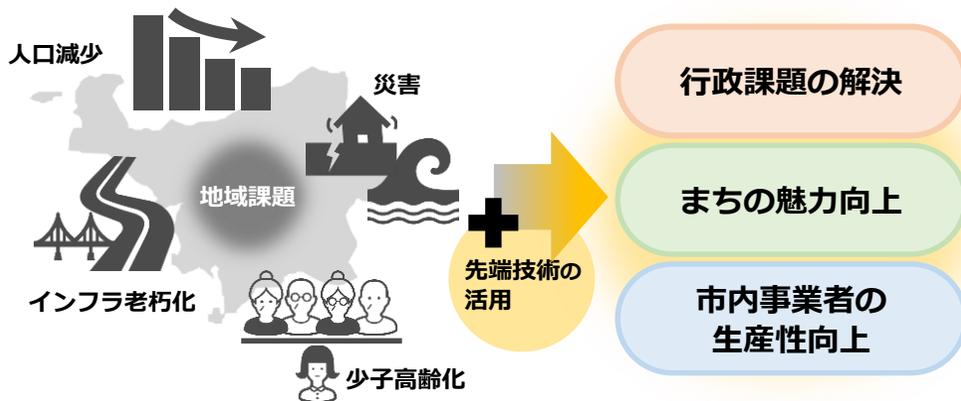
会議のペーパーレス化による効率化・コスト削減のため必要な環境を整備

豊かで持続可能な住みよいまちの共創

民間との「連携・共創」を推進し、先端技術を活用した新たな価値の創造や、持続可能な社会に向けた取組を進めることで、全ての市民が幸せを感じ、希望を持てる、豊かで住みよいまちの形成を目指します。

●スマートシティの推進<継続> 2,218千円 企画政策課

和歌山市スマートシティ推進プラットフォームのもと、分科会を設置し官民で具体的な検討や取組を進め、先端技術の実装に向けた実証実験の実施に対しては、スマートシティ実証実験サポート補助金により支援



●SDGs推進ネットワークによる連携促進<継続> 企画政策課

SDGsに取り組む企業や団体のパートナーシップを深め、各々の活動の活性化を目指すとともに、地域におけるSDGsの達成に向けた取組の推進につなげる

・花王(株)とのSDGs連携の推進

海洋プラスチックごみ問題の解決を目指し、海岸漂着PETのリサイクル化に向けた取組を加速していくとともに、幅広い世代が地域課題の解決に多面的に取り組めるよう連携体制を強化していく

民間との「連携・共創」により、より一層豊かで持続可能な、住みよいまちへ

令和5年度当初予算の概要

○ 一般会計予算

147,265,787 千円

増減率

増減額

(1.0%)

(1,470,159千円)

2.2%

3,160,359千円

○ 特別会計予算

99,621,312 千円

増減率

増減額

△1.4%

△1,421,376千円

○ 公営企業会計予算

39,509,014 千円

増減率

増減額

(3.6%)

(1,375,546千円)

3.8%

1,456,446千円

○ 予算合計

286,396,113 千円

増減率

増減額

(0.5%)

(1,424,329千円)

1.1%

3,195,429千円

() 内は、借換えの対象となった元金償還金を除いた額です。

令和5年度当初予算の特徴

○ 一般会計予算

- ・退職者の減少による人件費の減
- ・障害福祉サービス等給付費の増などによる扶助費の増
- ・消防指令システムの更新などによる投資的経費の増
- ・燃料高騰などによる物件費の増

○ 特別会計予算

- ・介護保険事業及び後期高齢者医療における給付費の増
- ・土地造成事業で、令和4年度で販売対象区画が完売したことに伴い、当該特別会計を令和5年度末をもって廃止予定

○ 公営企業会計予算

- ・水道事業会計及び公共下水道事業会計で、動力費の増加や新規事業の着手などにより増
- ・令和5年度より農業集落排水事業会計及び漁業集落排水事業会計が公営企業会計に移行

一般会計歳出の状況（目的別）

（2）款別予算額の年度間増減

令和4年度	令和5年度
1,441.1億円	1,472.7億円



**前年比31.6億円
(+2.2%)**

増

- ◆**消防費 +9.4億円 (+20.2%)**
 - ・高機能消防指令システム等の更新 +9.8億円
- ◆**民生費 +9.3億円 (+1.3%)**
 - ・障害福祉サービス等給付費 +4.2億円
 - ・障害児施設給付費 +1.3億円
 - ・認定こども園等整備事業補助金 +1.4億円
- ◆**教育費 +5.2億円 (+6.0%)**
 - ・燃料高騰等による小中学校等の光熱水費の増 +3.4億円
 - ・図書館システムの更新 +1.8億円

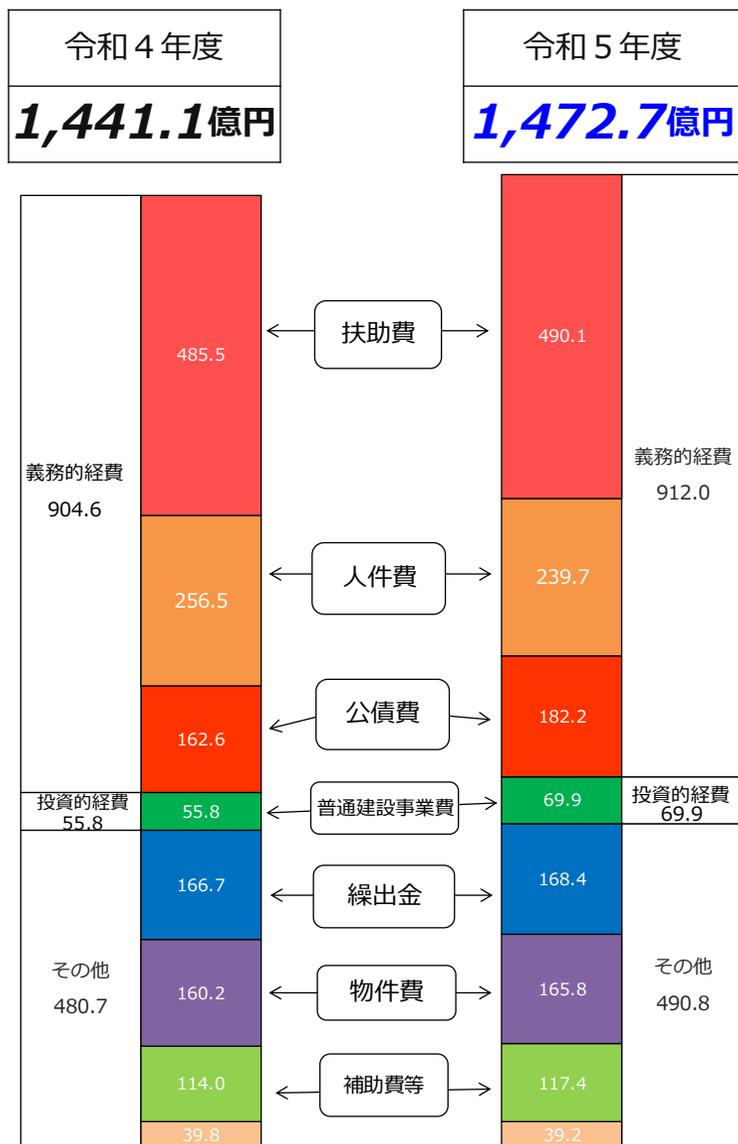
減

- ◆**土木費 △7.5億円 (△8.9%)**
 - ・岡崎団地の建て替え △4.2億円
 - ・都市計画道路整備事業 △3.4億円
- ◆**総務費 △6.5億円 (△5.4%)**
 - ・退職手当 △14.3億円
 - ・ふるさと納税返礼品発送等 +4.2億円
 - ・庁舎の空調改修及び光熱水費の増 +2.3億円
- ◆**衛生費 △5.7億円 (△5.7%)**
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 △7.6億円
 - ・出産・子育て応援給付金事業 +1.4億円

一般会計歳出の状況（性質別）

（2）性質別予算額の年度間増減

前年比+31.6億円（+2.2%）



◆義務的経費 +7.4億円（+0.8%）

- ・人件費 Δ 16.8億円（ Δ 6.6%）
退職手当 Δ 19.3億円 期末勤勉手当 +1.3億円
地方公務員共済組合等負担金 +1.1億円
- ・扶助費 +4.6億円（+1.0%）
障害福祉サービス等給付費 +4.2億円
障害児施設給付費 +1.3億円
新型コロナウイルス感染症に係る入院費及び
PCR検査費用等の公費負担 +1.2億円
- ・公債費 +19.6億円（+12.1%）
元金償還金 +20.2億円 長期債利子 Δ 0.5億円

◆投資的経費 +14.1億円（+25.2%）

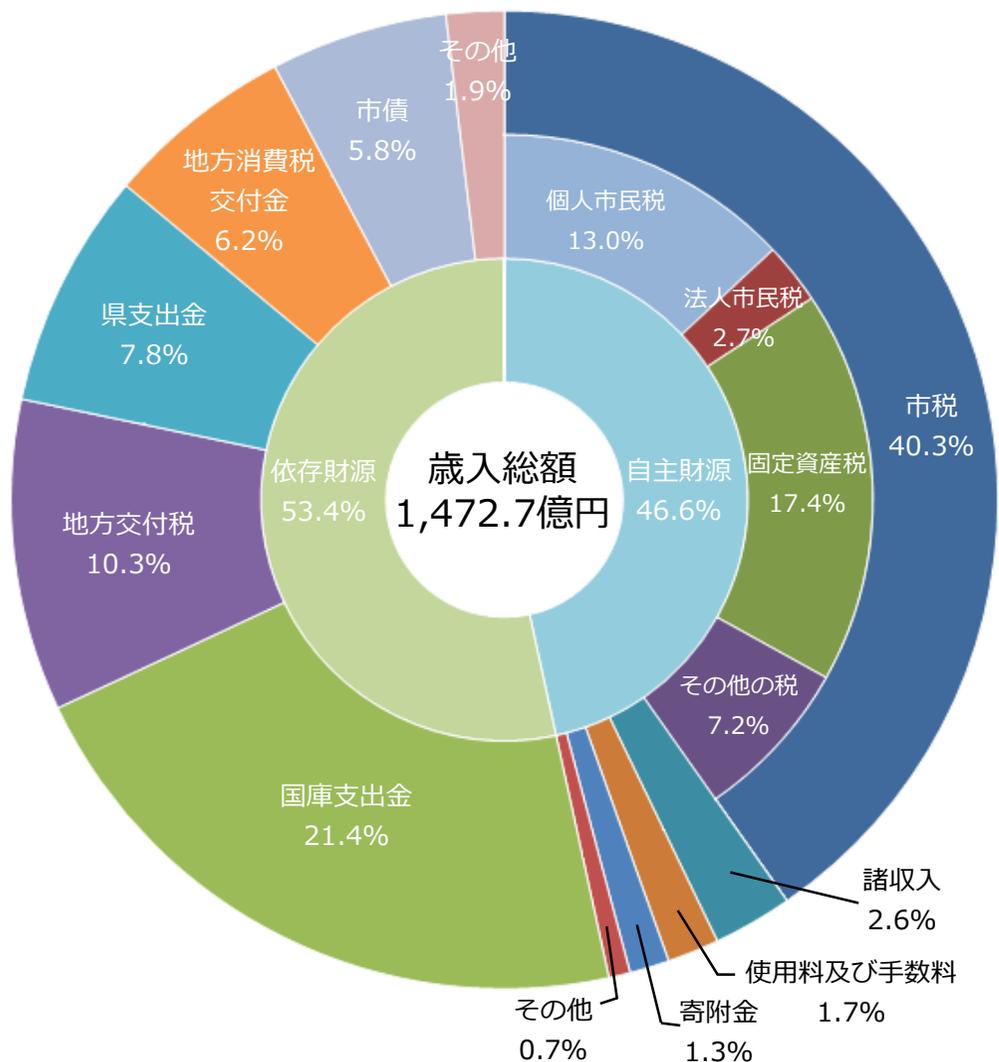
- 高機能消防指令システム等の更新 +9.8億円
友ヶ島野奈浦栈橋架替工事 +5.7億円

◆その他 +10.1億円（+2.1%）

- ・物件費 +5.6億円（+3.5%）
燃料高騰等による光熱水費の増 +6.5億円
予防接種委託料 Δ 1.0億円
- ・補助費等 +3.4億円（+3.0%）
農業・漁業集落排水事業 +2.4億円
公共下水道事業 +1.5億円
- ・繰出金 +1.7億円（+1.0%）
介護保険事業特別会計への繰出金 +1.6億円
後期高齢者医療特別会計への繰出金 +1.7億円
漁業集落排水事業特別会計への繰出金 Δ 1.0億円
農業集落排水事業特別会計への繰出金 Δ 1.0億円

一般会計歳入の状況①

(1) 自主財源と依存財源の割合



(%) は前年度の割合

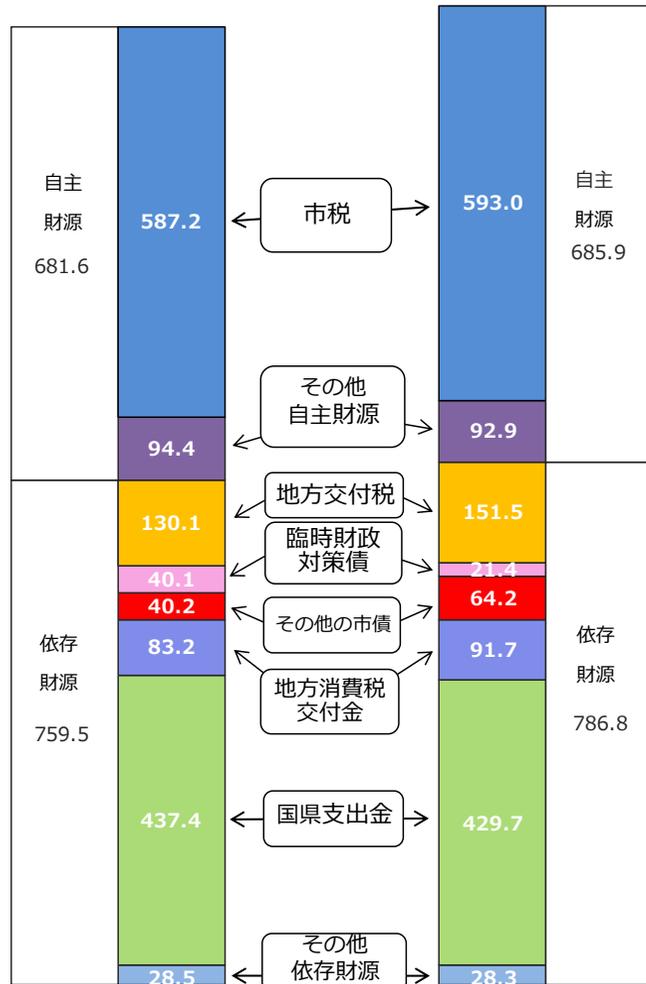
○ **自主財源 685.9億円**
構成比 46.6% (47.3%)

○ **依存財源 786.8億円**
構成比 53.4% (52.7%)

一般会計歳入の状況②

(2) 年度間増減

令和4年度	令和5年度
1,441.1億円	1,472.7億円



自主財源 +4.3億円 (+0.6%)

- 市税 +5.8億円 (+1.0%)
 - ・個人市民税の増等
- その他（繰入金等）△1.5億円 (△1.5%)
 - ・財政調整基金繰入金 △14.5億円
 - ・寄附金 +7.6億円
 - ・消防指令システム等構築受託収入 +5.3億円

依存財源 +27.3億円 (+3.6%)

- 地方交付税 +2.7億円 (+1.6%)
(臨時財政対策債を含む。)
- 地方消費税交付金 +8.5億円 (+10.2%)
- 市債 +24.0億円 (+59.7%)
(臨時財政対策債を除く。)
- ・借換債の増 +17.0億円
- ・消防施設整備事業債の増 +4.7億円
- 国県支出金 △7.7億円 (△1.8%)
 - ・公営住宅費補助金（岡崎団地建替事業） △1.6億円
 - ・街路事業費補助金 △1.7億円
 - ・選挙費負担金 △1.2億円
 - ・保育士等処遇改善臨時特例交付金 △1.1億円

